

1. 評価結果概要表

平成 21年 1月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	2071700591
法人名	財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
事業所名	グループホーム新子田の家
所在地	長野県佐久市新子田892番地2 (電話) 0267-68-6541

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年12月25日	評価確定日	平成21年1月15日

【情報提供票より】(20年 10月 30日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤15人 非常勤3人 常勤換算17.4人

(2) 建物概要

建物構造	平屋 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	29,400 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	150 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		840 円	

(4) 利用者の概要 (10月 30日 現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名	
要介護1	2名	要介護2	8名			
要介護3	4名	要介護4	3名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	86 歳	最低	73 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	浅間総合病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

佐久にあり車で10分程の佐久市新子田地区に位置し、児童館、保育園、別法人で経営する特養があり福祉ゾーンともなっている。新子田の家はビニールハウスや畑、住宅、神社のある、ゆったりとした広さを持つ田園風景の中にあり、玄関入り口に「グループホーム佐久・新子田の家」と彫られた看板があり、竹の垣根に誘導されて、普通の住宅に入ってゆくような感じを醸し出していた。グループホームの周辺は、古墳時代の遺跡が隣接し、太古の昔より、人々が共に支えあい、自然に活かされながら良さも悪さも一緒になって暮らす人間の根源的な生き方が脈々と続いていた。新子田の家は、そういう暮らしを目指して、利用者のご家族の絆を継続させて、介護する人、介護される人ではなく、一つ屋根の下に居る者として相手を思いやり、心の支えになれるように支援している。職員のつながりは、失敗を隠さず、それを共有し次につなげる姿勢であり、「ここに居ると何かさわやかで気持ちが良い」とつぶやきが出る雰囲気を持っていた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回4項目が改善課題となっていたが、全項目とも課題解決に向けて積極的に取り組み、4項目全てが改善されていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組み、評価すること、評価されることに対しても十分に理解が出来ていた。改善課題に対する姿勢も真摯なものを感じた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	構成メンバーは基準を満たし、今年度はこれまでに1回の開催であるが、メンバーからの意見は現状に即した、前向きな内容であり事業所へ向ける暖かい姿勢が感じられた。今後は開催回数を増やし、多くの方の意見をいただき、地域と共に暮らしながら、利用者の「ほがらか、すこやか、なごやかに」の理念の実現に向けて、さらなる会議の充実を図ることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族もケアの一員として、絆を切らず、共に支えてゆくことを基本姿勢とし、月1回の暮らしぶりの報告や年2回のたより発行、衣類や寝具の交換等の家族協力等、頻度良くご家族との接触を持っているので、意向や思いを聞きやすくなっている。これまでに意見等はほとんどなく、「やってほしいことがあれば言って下さい」というご家族さえることを伺った。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的に散歩できるコースがあり、その途中で近隣住民との挨拶や立ち話、おすそ分けがあり、良いお付き合いが出来ている。保育園児との交流や多目的ホールの開放もあり、地域とのつながりは充分である。又、運営推進会議を通じて、事業所に対する理解も深まり、平成20年10月の無断外出の際の地域の協力対応により、さらに連携は深まり、平成21年3月には合同防災訓練の計画が出来ている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「佐久の自然の中で、ほがらか、すこやか、なごやかに」を理念とし、玄関を入れて正面に額入りで掲げ、職員の心の中に利用者の暮らしを支える核として位置付けられていた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のミーティングや毎日の申し送りの際を活用して、職員への周知徹底を図っている。職員との面談でも周知と実践への取り組みが感じられた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入、隣接する保育園児との交流、祭り等の地域行事への参加、日常的散歩時の挨拶や会話、野菜等のおすそ分け、多目的ホールの開放や、そこで行われるコンサート等への招待等地域の人々との関わりを積極的に持っている。地域と共に暮らしている利用者の日々の姿が感じられた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組み、評価すること、評価されることも理解していた。前回の改善課題は4項目とも課題解決に積極的に取り組み、改善されていた事実を確認できた。事業所の真摯な姿勢は評価できると感じた。		

グループホーム佐久・新子田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>構成メンバーは基準を満たし、会議は積極的な意見が多く、メンバー自身が事業所を支える一員としての姿勢で会議に臨んでいることが感じられた。今年度は、これまでに1回の開催となっているが、メンバーの前向きな意欲に応えるためにも開催回数を増やされることを望みます。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政、包括支援、介護相談員の受入れ等、市との接触は良く保たれている。行政担当者の現場研修会を企画するなどの事業所からの積極的な働きかけや事業所の課題相談なども相互理解、連携には良いことと感じた。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、暮らしぶりや健康状態を手紙でご家族に報告している。さらに家族会(年1回)や面会時の報告、年2回のたより「ほがらか」の発行等の活用により、利用者の様子は十分に伝わっている。今後は写真やビデオを、単なるスナップと位置付けるのではなく、介護計画の課題分析やご家族の安心への記録として活用するのをも一考かと感じた。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族と共に利用者を支えていくことを介護の柱とし、日用品の購入についてもご家族に相談するなど、その接触度、つながりの強さを感じた。相互の厚い信頼関係があり、意見や要望はほとんどなく、「やってほしいことがあれば言って下さい」というご家族さえいることを伺った。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的には、各ユニットの職員を固定化していることにより、異動等による利用者へのダメージは少ないことを伺った。さらに、利用者をチームで支える体制やご家族を暮らしを支える一員と捉えていることなど、ダメージを防ぐ配慮がなされていた。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県や地域の研修会に多くの職員が参加できるように配慮されている。研修報告もミーティングの場で発表したり、報告書の閲覧が出来るようにしている。今後は事業所内で計画的に、基礎的介護の研修会を企画して介護方法の共有化を図り、将来の重度化等を視野に入れた体制作りをすることも良いと感じた。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>佐久市や県の連絡会に加入し、交換研修や勉強会を行い、交流を持っている。交換研修は、2名の職員を事業所間で交換し、一日研修を行うものであり、批判するのではなく、より良くするための提案をすることを目的としている。事業所間でサービスの質の向上のために切磋琢磨していることを感じた。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に、利用者やご家族のニーズや不安等を十分に聞いて、何日か事業所に来てもらい、お茶や食事の時間を過ごしていただき、雰囲気を知ってもらい、馴染みながら入居していただくように対応している。安心して納得してサービスを利用するためには、入居の待機中から支援していく姿勢が大切であると感じた。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の得意分野(野菜作り、調理、そば打ち、漬物等)を發揮してもらい、時には若く活躍していた頃の昔話を聞きながら、「ひとつ屋根の下で暮らす者として」職員でもなく、利用者でもなく、相手を思いやり、相互に心の支えになれるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>関わりの中で得られる利用者の言葉や表情から思いや意向を把握している。これまでの生活歴やご家族の情報からも利用者の暮らしへの思いを把握するよう努めている。表に自分の気持ちを出せない利用者もいるので、その思いを引き出せるように支援していることを職員から伺った。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>課題分析はセンター方式の中から必要なシートを選ぶ方法を取り、利用者やご家族の意向や思いを聞いて、利用者の担当者が中心となり、チームで記入する経過ファイルや意見をミーティングにかけて介護計画を作成している。担当制としているがチームで支える形にしているので計画の全職員への共有化が図られている。介護計画書はご家族等の了解を必ず得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月に1度は計画の見直しを行い、状況の変化に合わせての臨機応変な見直しも実現できていた。職員は、月1回のケアミーティングの際に、介護する中で感じたこと等の提案をし、計画の見直しに携わっている。長期目標の期間や評価の記入方法について検討されることを望みます。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の送迎、終末期の支援、早期退院への情報交換や担当者との面談を行っている。医療連携体制加算の対象事業所となるための条件整備を望みます。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基本的には、利用者やご家族の希望するかかりつけ医にしているが、往診も来てくれて、小さな変化や緊急時にも対応してくれる近くにある医院を、現在は全利用者が利用している。ご家族からも変化への対応がよいと評価されている。入院を要する場合は協力医療機関を利用している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族の協力を得ながら、2名の看取り、終焉の時間を共に過ごす体験をしている。終末期への対応指針はないが、前向きに受け入れる姿勢を持っており、利用者やご家族の思いに副えるよう、出来ること、出来ないことの検討をしている。工夫はしても無理しない体制を見つけ出すこと、さらに重度化に向けて、介護のあり方について職員の意識や技術を共有化することを望みます。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ミーティングの折に職員の意識向上を図っている。馴染みの関係が馴れ合いの関係になると、尊厳を傷つけてしまうような言動は、自分では気付かなくなるので、職員間でチェックしたり、時には第三者(介護相談員や運営推進会議のメンバーなど)の方にチェックしてもらうことも大切であると感じた。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりのリズムが違うので、体調や気分配慮して無理なく過ごせるよう支援している。利用者自身からやってみたいという気持ちが湧いてくるのを待つ姿勢でいることを伺った。「天気の良いので、出掛けたいね」という言葉で温泉に行ったという話を聞いて、その日の思いの実現が出来ていることを感じた。</p>		

グループホーム佐久・新子田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理から洗い物片付けまで、職員と利用者が一体となり分担し合いながら行なっているのを見て、食事全体を楽しんでいると感じた。誕生会の寿司とケーキ、中庭でのバーベキュー、焼き芋会、外出して回転寿司、パスタ料理、ドライブでの弁当、イチゴ狩りと食べることを楽しんでいることを伺った。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個人の希望に副えるように、入浴は一日中いつでも入れる体制になっている。入浴の嫌いな人には足浴や清拭、声掛けの工夫をしている。将来必ずやってくるであろう重度化への対応(訪問入浴の利用など)について、今から検討していることを伺った。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野を理解し、体調や意向に配慮しながら、自信を持ってやれることを発揮させ、主役となれる場面作りをしている。昔取った杵柄の梅干、干し柿、大根や野沢菜漬け、野菜作りなど利用者の楽しみや気晴らしとなることを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの八幡神社を通るコースは、車の通行も少なく、日常的に散歩するには絶好であり、近隣住民との挨拶や立ち話し、時には野菜等のおすそ分けもあり、意向や体調、気分に合わせて季節を肌で感じる外出をしている。ドライブ好きという利用者も多く、五稜郭や平尾山などへ積極的に出掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	平成20年10月に無断外出があり、地区住民、消防団が動員され捜索に入り、無事に発見されたという経験を持ち、現在は日中、玄関に鍵をかけている。外からは自動開閉、内からはスイッチによる開閉の自動ドアを設置するための見積りを取っている段階である。帰宅欲求者には見守りで注意し、時には付き添い同行やドライブするなどの支援をしている。		

グループホーム佐久・新子田の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消火器の取り扱い訓練を実施し、年1回心肺蘇生法の講習を受けている。地域住民と平成21年3月頃に合同訓練を実施する予定である。無断外出の協力などを通じて、地域住民の事業所への防災協力意識が高まってきていることを伺った。</p>		<p>具体的な災害時の対応手順(特に避難誘導の方法、昼と夜とでは状況が変わるのでそれに応じた手順)、消火器や屋内消火栓の使用方法を消防署の指導を受けながら策定されることを望みます。又、年2回(地域との合同訓練を含めて)は通報、消火、避難誘導訓練を実施されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立については、事業所外の管理栄養士に依頼して栄養バランス等の指導を受けており、食事量や水分量はチェック表で確認している。年1回の血液検査など身体状況のチェックもしている。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関に花、廊下にはソファ、居間兼食堂にはクリスマスツリー等の飾り物、窓は大きく、暖かい日差しが差し込み、ゆったりと居心地よく、落ち着ける空間になっていた。ユニット毎に食卓の配置が違い、コタツも1ユニットだけであり、それぞれに過ごしやすい配慮があった。窓からはそば畑、神社、住宅など住み慣れた当たり前の景色が眺められ、地域の中に溶け込んで暮らしている様子が伺えた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は洋室と和室の2ユニットになっているが、それぞれ、馴染んだ自前のベッド、寝具、タンス、鏡台、時計、テレビ等が持ち込まれ、その人らしい暮らしが伺えた。各居室には押し入れと洗面所が設置され、広さ、採光、外の景色も良く、一日ゆっくりと居室で過ごせるようになっていた。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。